

名張市における 在宅医療・介護連携

名張市地域包括支援センター

令和7年度 名張市在宅医療支援センター 事業実績

在宅医療支援センター概要 運営主体：名張市 名賀医師会に運営委託

目的

在宅療養患者・家族等に対し、在宅で安心した生活を送るための総合的な相談・支援を行い、医療機関や福祉機関等と連携を図りながら、適切な支援を行うことにより、患者及び家族のQOLの向上を図る。

業務内容

- 医療機関の紹介など在宅医療に関する相談業務・情報提供
 - 在宅医療・福祉に関する情報収集及び提供
 - 患者・家族の相談に対応
 - 知識の普及（講演会等の開催など）
- 在宅医療の推進とネットワークの構築
 - 医療機関の連携
 - 医療機関と介護・障害福祉関係者の連携
 - 在宅医療従事者のための研修会 等



在宅医療支援センターHP参照

令和6年度 事業実績

在宅医療支援センターホームページより抜粋

1. 名張市在宅医療支援センターの運営

(1) 会議の開催

①運営協議会 令和6年4月23日

②在宅支援実務者会議 令和6年8月6日、11月26日、令和7年3月11日

(2) 本人・家族及び関係機関・職員への相談支援

電話相談：116件 来所相談：17件 訪問相談：27件

2. 包括的なネットワークの構築

(1) 多職種連携研修の開催

目的：医療病床数、医師数などの医療資源が少ない名張市で、医療、福祉、保健従事者などの「人」の力を引き出しネットワークをつくることで「生まれ育ったまち、住み慣れたまちで暮らしつづける」ことの実現をめざす

①多職種連携地域ケア会議（伊賀薬剤師会共催）

日 時：令和6年11月14日（木）午後8時～9時30分

場 所：ZOOM

テーマ：さらなる多職種連携のために知ってほしいこと、知りたいこと

方 法：スモールディスカッションと全体での共有

参加者：27名

②多職種連携コミュニケーションアップ研修

日 時：令和6年9月26日（木）午後6時40分～8時40分

場 所：名張市防災センター

テーマ：『コーチングで知ろう！あなたが目指す最高の仕事』

講 師：名賀医師会長 森岡内科クリニック 森岡 浩平先生

参加者：112名



③青山地区多職種連携研修

日 時：令和6年10月5日（土）午後2時～4時

場 所：伊賀市青山福祉センター

テーマ：『住み慣れた青山で暮らし続けられるように、みんなでなんとかしよう』

内容：話題提供 昨年8月の台風接近時の体験談

・城医院 院長 城 祐輔先生

・特別養護老人ホーム 森の里 施設長 中島慎介氏

グループワーク

・体験談をきいての感想、自分の体験等の情報交換、今後の“災害”への対応等

全体での情報共有、意見交換

参加者：50名



(2) テーマ研修

人生の最終段階におけるケアに関する研修

日 時：令和7年2月27日（木）午後2時～4時

場 所：名張市保健センター2階

テーマ：「エンド・オブ・ライフケア～意思決定支援・本人の意向を考える～」

内 容：講義と「もしバナゲーム」

講 師：がん看護専門看護師 中 滉子氏、認知症看護認定看護師 城井田 浩二氏

参加者：43名



(3) 看護職研修の開催

三重県看護協会伊賀地区が行う「看護職連携構築事業」の準備委員会に参画し研修を開催

日 時：令和6年12月5日（木）午後6時30分～8時30分

場 所：名張市防災センター

テーマ：「効果的な退院支援に向けて、看護職と介護支援専門員との連携の強化」

内 容：講演とグループワーク

講 演：「介護保険について」「退院時に介護支援専門員が欲しい医療情報について」

三重県介護支援専門員協会伊賀支部 支部長 関森 一代氏・副部長 原田 恵子氏

「病院で実施している退院支援」

伊賀市立上野総合市民病院 地域医療連携室室長 中井 より子氏

参加者：100名

(4) 地域課題抽出、課題解決のための取組

- ・三重県や厚生労働省のホームページにある人口動態、介護保険等の統計を名張市、伊賀市の分を集約し、統計からみえる地域の特徴を把握。
- ・地域包括支援センターや関係機関との打合せを通じて、地域の情報を共有したが課題共有まで至っていない。

(5) 関係機関との連携

会議への出席：30回

ケースカンファレンスへの出席：11回（ケース実件数10件）

3. 在宅医療推進のための環境づくり

(1) 名張市立病院と在宅主治医との連携

在宅医療緊急システムの推進

- ①在宅主治医は『在宅医療救急システム登録票』を記載し、在宅医療支援センターを通じ名張市立病院へ届ける。
- ②名張市立病院は『在宅医療救急システム登録票』が届けられたら、速やかに『在宅医療救急システム登録済証』を、在宅医療支援センターを通じて在宅主治医に届ける。

(2) 歯科医師会及び薬剤師会との連携

- ・地域口腔ケアステーション連携推進ネットワーク会議での口腔ケア、在宅歯科診療に関する情報交換
- ・相談支援での歯科医師会、薬剤師会との連携、調整

4. 市民への情報提供、啓発及び協働

(1) 地域が実施する健康講座にて、名賀医師会の医師が健康教育を行い、名張市在宅医療支援センターの相談等の業務について情報提供

日 時：令和7年1月25日（土）

場 所：桔梗が丘市民センター

参加者：71名

(2) 医療資源の情報収集及び市民への提供

『令和6年版ガイドブック・マップ』を希望者に配付



医療・介護福祉ガイドブック・マップ

医師会等(在宅医療・介護等連携機関)との情報連携による支援

地域医療つながりサポート

厚生労働省保険局モデル事業「保険者とかかりつけ医等の協働による加入者の予防健康づくり事業」は令和3～5年度で終了したが、令和6年度以降も医師会等との情報連携による支援として「地域医療つながりサポート」の取組みを継続。

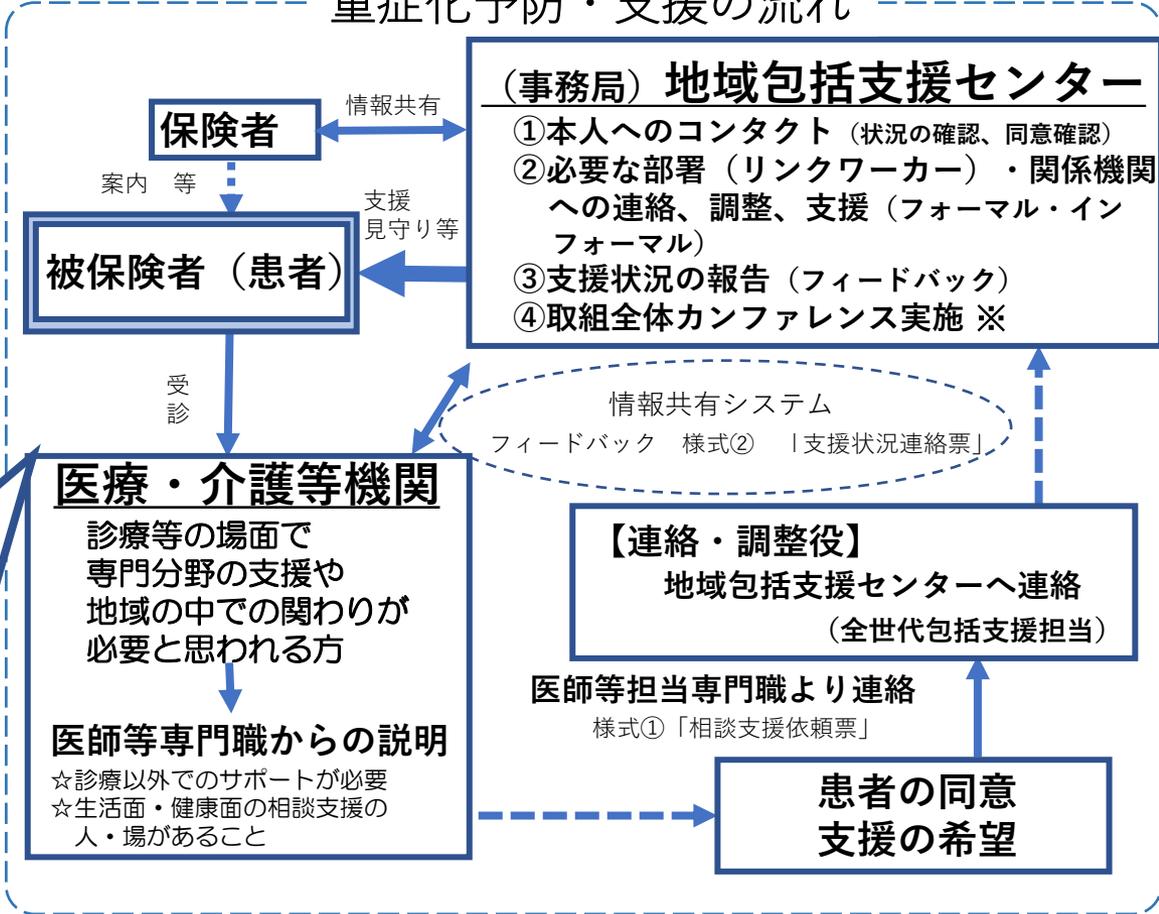
医師会等の在宅医療・介護等連携機関との情報連携を円滑に図り、社会的リスクを抱える方への社会生活面の支援につなげる

【モデル事例】

- 糖尿病治療中だが、生活の場での栄養・保健指導や地域の運動教室へのつながりが必要
- 複数の疾患があり継続治療が必要だが中断している
- 医療費が払えない(薬剤を減らす、検査を控える)
- 身の回りのことができず、不衛生な状態
- 一人暮らしでアルコールに依存している
- 認知症のある高齢者、地域の見守りがあるのか不明
- 高齢世帯で、ひきこもりの家族がおり悩んでいる
- 治療中の親が、子どもの不登校等に悩んでいる
- 親の受診に子どもが付き添い日常のケアもしている

※同意が取れない場合も支援方法を検討するため、カンファレンスは重層的支援体制整備事業における支援会議及び重層支援会議に位置付ける

重症化予防・支援の流れ



医療・介護等機関
診療等の場面で専門分野の支援や地域の中での関わりが必要と思われる方

医師等専門職からの説明
☆診療以外でのサポートが必要
☆生活面・健康面の相談支援の人・場があること